

お知らせ

2021年9月7日(火)

北海道エアポート株式会社

自己治癒型液体補修材による コンクリートひび割れ補修実証実験を実施しております

北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生猛）は、會澤高圧コンクリート株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長：會澤祥弘）と協力し、同社の自己治癒型液体補修材「**Basilisk（バジリスク）ER7**」を使用したコンクリートひび割れ補修実証実験を新千歳空港内の駐機場で実施しております。

バクテリアの代謝活動を利用する本補修材により、コンクリートの劣化の進行を遅らせることで、駐機場施設などの維持修繕にかかる負担の軽減ならびにライフサイクルの延長が期待されます。

当社は北海道発となるこの新素材の活用により、環境に優しく、安全・安心な空港運営を目指し、今後も「**Basilisk（バジリスク）**」の導入に向けて実証実験に取り組んでまいります。



実証試験の実施状況



ひび割れ補修作業前



ひび割れ部分が徐々に塞がれ、「Basilisk ER7」の効果が表れてきた状況

※商品に関する説明は別添資料をご参照ください。

＜本件に関するお問い合わせ＞

空港計画部 技術課 0123-46-2990（代表）

Basilisk

self healing concrete

ER7

自己治癒型液体補修材

国土交通省
新技術情報提供システム
NETIS登録商品
HK180017-A



Basilisk ER7とは？

- バクテリアの代謝活動を利用した液体タイプのひび割れ補修剤
- ひび割れ内部まで深く浸透し、ひび割れを修復
- A剤・B剤2種類の粉体材料を、40℃の温水で溶解して使用

製品の特徴

- 1回の施工で約0.3mm程度の床面のひび割れを修復
- 繰り返し施工が可能。2～3回の施工で0.6mm程度のひび割れの修復が可能

ひび割れのメカニズム



“バクテリア”と“えさの素”が入ったA剤をひび割れに塗布する。

B剤により“えさの素”が“乳酸カルシウム”に変わる。これがバクテリアの“えさ”となる。

バクテリアは乳酸カルシウムを食べながら炭酸カルシウムを出し、ひび割れを埋める。

施工方法



噴霧器による施工



ローラー・刷毛による施工

その他の商品

HA
自己治癒コンクリート材量

MR3
自己治癒型補修モルタル

詳細はHPで!

Basilisk

